

— 災害に備えて —

新年度を迎え、生活環境が変化した方も多くいらっしゃると思います。
いざという時に慌てないためにも、災害時の避難先について検討しておきましょう。

分散避難の検討(感染症対策)

「避難」とは、「難」を「避」けることであり、新型コロナウイルス感染症に感染するリスクを少しでも減らすため、避難所以外への避難を検討しておきましょう。

★避難場所の選択例

☑ 安全な親戚宅、友人宅等への避難

☑ 洪水ハザードマップを確認したうえでの垂直避難（在宅避難）

※浸水によりご自宅が孤立してしまう場合があるため、1週間程度の食料の備蓄を心がけてください。

☑ 安全な場所での車両避難（車中泊）

※車両避難をする場合には、エコノミークラス症候群を予防するため、できる限り着圧ソックスや弾性ストッキングなどを準備してください。

☑ 安全なホテル、宿泊施設等への避難

※町内には宿泊施設がないため、町外への移動になります。早めの行動をお願いします。

☑ 指定避難所への避難

※指定避難所では、感染症対策として、1人あたり4㎡のスペース及び1mの通路を確保することとしています。また、道路が冠水する場合がありますので早めの避難をお願いします。

松原大橋の水位表の表示が変更されました



▲松原大橋の橋脚

思川の避難判断水位の見直しに伴い、松原大橋の右岸、左岸に看板を設置していましたが、橋脚の表示が変更されましたのでお知らせします。

- 避難判断水位が7.7mから5.7mに変更されています。
- 避難判断水位は、避難準備や高齢者等避難開始の目安となる水位です。

防災行政無線テレホンサービス（自動音声応答装置）

0180(99)2121

上記の番号にお電話いただくと、防災行政無線の放送内容を音声メッセージで確認できます。